

出題番号	問題番号	問題文	正答	text ポイント	配点	図
1	1	日本では1960年代に高度経済成長を背景に小売業も急速に発展した。70年代にはスーパーマーケットなどのチェーン・ストアが急速にその勢力を伸ばしてきたが、その象徴的な出来事がそれまで売上高トップの三越百貨店をあるチェーン・ストア企業が追い抜き日本一の座についたことである。あるチェーン・ストア企業とはどれか。	3	8	1	
		ジャスコ（今のイオン）				
11	2	一般に販売管理費に占める割合が最も多いものはどれか。	3	13	1	
		広告宣伝費（販促費）				
21	3	オムニチャネル化について以下の説明で正しいものはどれか。	3	14	1	
		ネットビジネスで業容を拡大した企業が実店舗を持ち、両方の分野でビジネスを行うことを指す。一方で、最初から実店舗を持つ企業（例えばスーパーマーケット企業など）がネットビジネスに進出することは含まれない				
31	4	eコマースでは、実際の店舗よりもはるかに高いレベルの商品管理・在庫管理が求められる。以下の三つの理由のうち正しいものはいくつあるか。	3	14	1	
		①実在庫情報が誤っていることで購入しようとする顧客が購入できずに落胆するから ②実在庫情報が誤っていることで例外処理が発生し手間やコストがかかるから ③実在庫情報が誤っていることでそのeコマースサービスに対する信頼度が低下するから				
41	5	小売業の役割は顧客に商品を販売することである。以下の説明で正しいものはどれか。	3	16	1	
		顧客がはっきりと認識している「欲しいもの」だけを提供すればよい				
51	6	サプライチェーン・マネジメントについて以下の説明で正しいものはどれか。	3	24	1	
		商品を仕入れるベンダー、もしくは小売業が自ら運営する物流センターから店舗へ、そして最終的に消費者の手に渡るまでの複雑なプロセスを効率よく実現するための活動				
61	7	商品が店舗に届けられるまでにはさまざまな人間が関わる。では、以下の説明で正しいものはどれか。	3	27	1	
		商品が店舗に届けられるまでのプロセスにおいては、どのプロセスにおいても厳密な検数や検質が行われている				
71	8	不明ロスの原因について以下の説明で正しいものはどれか。	3	28	1	
		不明ロスの原因は、小売業の店舗が誰でも自由に出入りでき、セルフサービスの販売形式をとり、不特定多数の人間によって商品に触ることができることに限られる。				
2	9	お客の支持を得て、売上利益を上げ続けるためにはどのような努力をすべきか。	3	29	1	
		低賃金の従業員を増やし、一方でできる限り少ない人数で店舗を運営する				
12	10	客単価について以下の説明で正しいものはどれか。	3	31	1	
		客単価とは、客が購入した商品点数の平均である				
22	11	表に示された損益計算書の例（一部）の空欄の値はいくらか。	3	31	3	○
		(イ) 7,000 (ロ) 2,000				
32	12	商品回転率について以下の説明で正しいものはどれか。	3	33	1	
		商品回転率とは年間売上原価合計を平均原価棚卸額で割ったものであり、年間売上原価合計を増やすと商品回転率は小さくなる				
42	13	オープン・ツウ・バイについて以下の説明で正しいものはどれか。	3	33	1	
		仕入れ担当者の裁量で仕入れることができるが最終的な利益の責任が仕入れ担当者にあると規定すること				
52	14	スペース生産性の説明で正しいものはどれか。	3	34	1	
		陳列スペースあたりの売上高のこと				
62	15	顧客が買いたい商品がなく、もしその商品在庫があれば販売できかもしれないことで生じる損失を何というか。	3	34	1	
		販売損失				
72	16	次の図は数量ベースでの不明ロスを説明したものである。空欄に入る数値はどれか。	3	35	1	○
		1個				
3	17	期末棚卸において意図的にロスを減らすために行う不正行為は次のうちのどれか。	3	35	1	
		棚卸実施前に入荷した一部の商品を棚卸で計上しない				

Q11（出題順22）

項目	数値
売上高	12,000
売上原価	(イ)
売上総利益	5,000
販売管理費	4,000
営業利益	(ロ)
以下略	

Q16（出題順72）

